



地元高校生が裾花川のウォーキングロードを整備しています

県では現在、次世代の建設産業を担う技術者を育成するため、『建設技術実践プロジェクト』を展開しています。

本プロジェクトは、地域に親しまれている裾花川を舞台に、**地元高校生12名が、設計班と施工班に分かれ、ウォーキングロードの整備・維持管理**に取り組みます。

★今年度のテーマ

プロジェクトの詳細は、添付の『R02.09.02 キックオフ資料』を参照ください

1. 【設計班】のテーマ

裾花川ウォーキングロードは、県庁横を起点に下流側の約2.4kmにわたり整備する計画。昨年度までに上流側2kmが整備され、残りは長安橋からあやとり橋間の0.4kmとなりました。

今年度は、右の写真に示す未整備区間の土地利用状況を調査し地元・利用者の意見を聞きながら測量・ウォーキングロードのルートを検討・設計します。

土地利用状況、地元・利用者の意見を聞きながらルートを検討、最も最適な案を抽出。



水・泥がたまった当区間の補修方法を生徒が考え実際に施工。



2. 【施工班】のテーマ

ウォーキングロードの一部区間に、雨が降ると水や泥がたまり、地元から改善の要望が寄せられている区間があります。

今回は、当区間の補修工事を実施します。工事に必要な測量、補修方法の検討・設計図の作成、施工計画の検討、実際の施工を生徒自ら考え実践します。

★建設技術実践プロジェクトとは？

地域に根ざし、暮らしを守る建設産業の技術を将来にわたり確保し、地域で活躍する技術者を育成するものです。

県が提供する建設現場において地元高校、建設業協会の『産・学・官』が連携し、測量・設計、工事のプロセスを高校生が自ら実践し建設産業の魅力を感じ、一人でも多く建設業、測量設計業など地域を支える企業への就職につなげる取り組みです。

本プロジェクトは、長野工業高校が取り組んでいる『課題研究』の題材となり、その成果は来年1月26日、土木科内で行われる発表会で披露されます。

高校生活3年間の集大成。未来の建設産業を担う12名が、地元裾花川を舞台に課題の解決に取り組み、仲間とともに考え、実践している姿を是非取材してください。

※プロジェクトは、9～12月に実施。スケジュールの詳細は、下記までお問い合わせ下さい。



長野建設事務所 整備課整備第一係
(課長)中村 勇一 (係長)小山 栄樹
(担当)牧 和宏
電話(直通) : 026-234-9542
F A X : 026-233-3245
E-mail : choken-seibi@pref.nagano.lg.jp

建設技術実践プロジェクト実施位置図

プロジェクトは、長野工業高校土木科の教室の他、下図に示す場所で実施しています。

施工班は、長野保健所前で実施しています



設計班は、長安橋～あやとり橋間で実施しています。



令和2年度 建設技術実践プロジェクト事業

(一)裾花川 長野市 岡田

R02.09.02 キックオフ資料

【ウォーキングロード予備設計・ウォーキングロード補修工事】



Designing future

of the country



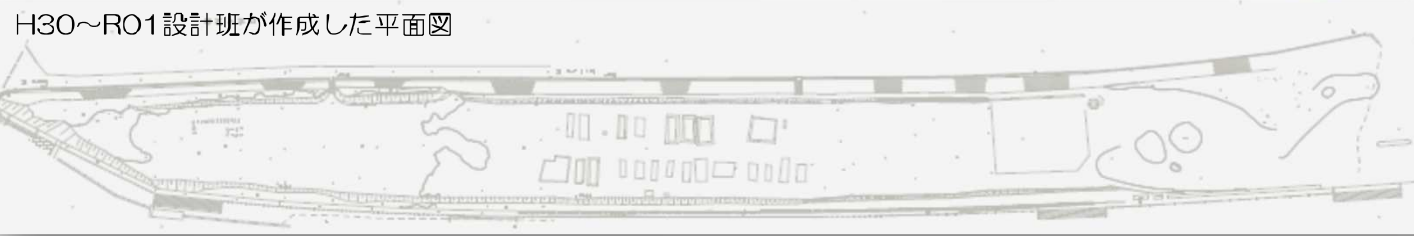
長野工業高等学校 土木科



◆ウォーキングロード整備事業の経緯



◆昨年度の実施状況



◆今年度（R02）のテーマ



【設計班】ウォーキングロード未完成区間の設計

ウォーキングロード未整備区間について、各種基準等を参考に予備設計を行いルートを決めて下さい。平面図(地形図)は先輩が作成しています。この平面図を持ってまず現地を確認してください。

Keyword

- ①河川管理道としての役割
- ②土地利用状況を考慮
- ③地元住民や利用者の意見

【施工班】泥・水たまり区間の凹凸補修工事

令和2年7月豪雨による出水で、ウォーキングロードに泥・水が溜まり歩けなくなっている箇所があります。この問題を解消してください。現地をよく確認し、当地区に適した案を検討し施工してください。

Keyword

- ①自分たちで工事を行う
- ②今後の維持管理を考える
- ③工事の順序、工程、仮設を考える



平面図(1) S=1:1000

R02建設技術実践プロジェクト 実施概要図【設計班】



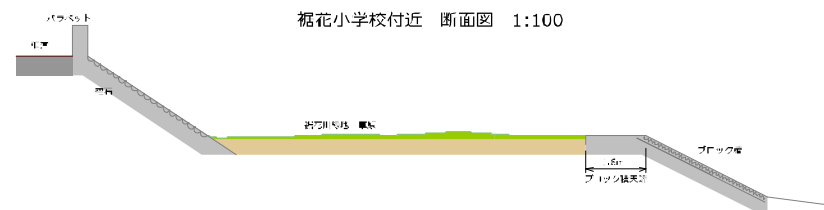
ウォーキングロード未完成区間の設計(予備設計)
 「長安橋～あやとり橋」間は、ウォーキングロードが未整備です。
 未整備区間について、予備設計を行いルートを決めて下さい。
 平面図(地形図)は先輩が作成しています。
 この平面図を持ってまず現地を確認してください。

《Key Word》

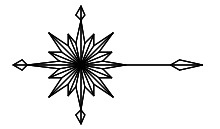
- ① 河川管理道としての役割
- ② 土地利用状況を考慮
- ③ 地元住民や利用者の意見

《検討フロー》

- ① 設計計画(目的を理解)
- ② 現地調査(地形の、土地利用状況をよく確認)
- ③ 横断測量の実施(設計に必要なと思われる測線2~4本)
- ④ 設計条件の整理・確認(横断構成を決定)
- ⑤ ルート検討(河川管理道、土地利用状況、地元・利用者意見)
- ⑥ 図面・概算数量・概算工事費作成
- ⑦ 検討結果の取りまとめ・成果作成



平面図(2) S=1:1000
R02建設技術実践プロジェクト 実施概要図【施行班】



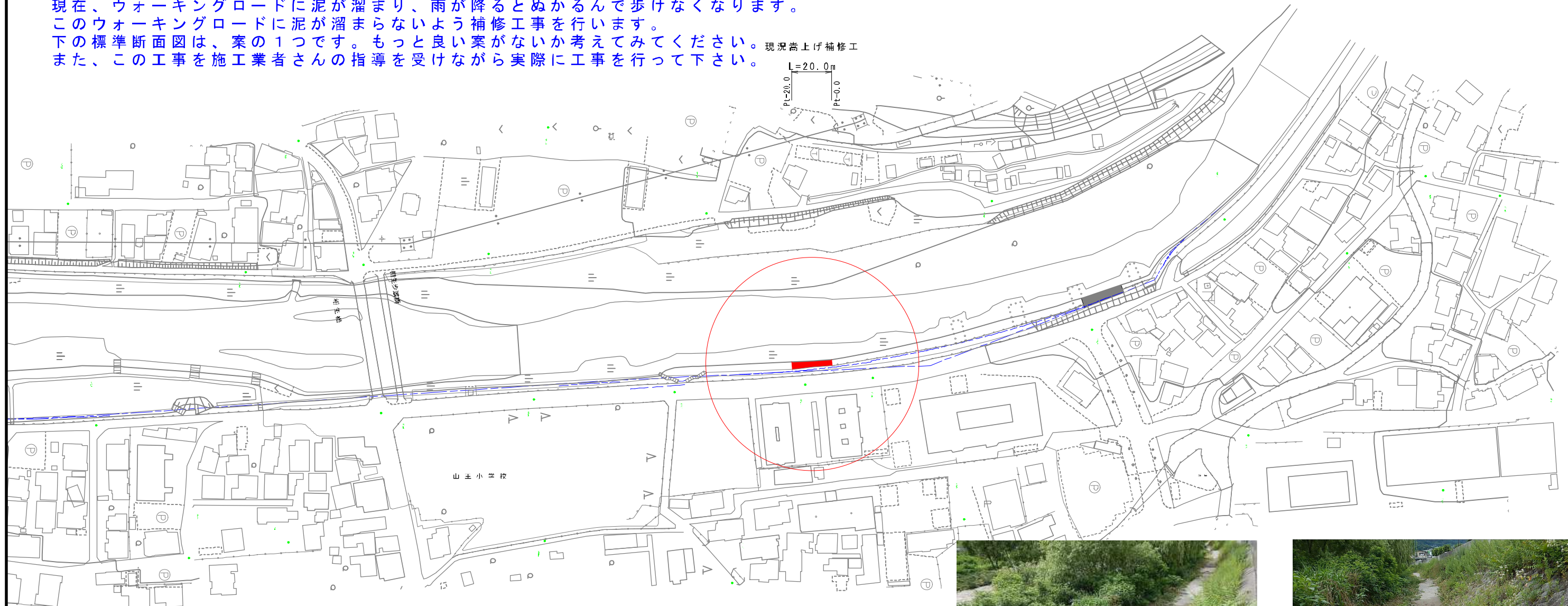
泥・水たまり区間の凹凸補修工事

現在、ウォーキングロードに泥が溜まり、雨が降るとぬかるんで歩けなくなります。

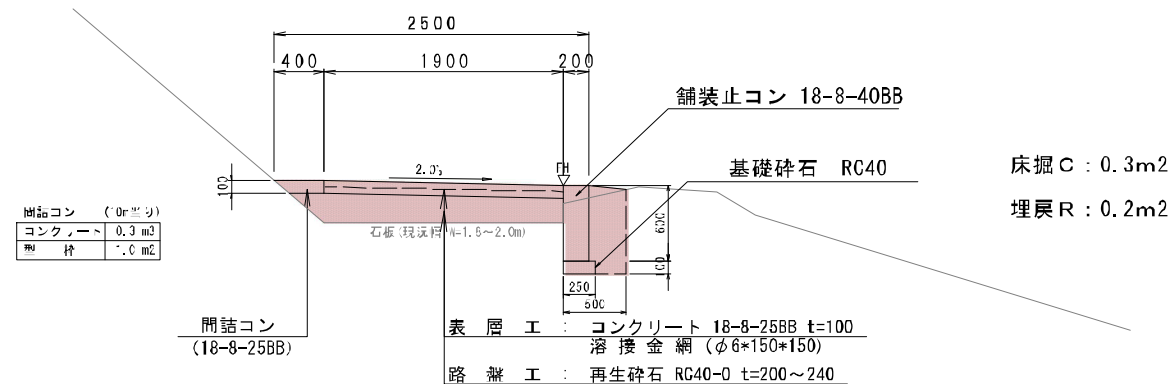
このウォーキングロードに泥が溜まらないよう補修工事を行います。

下の標準断面図は、案の1つです。もっと良い案がないか考えてみてください。現況嵩上げ補修工

また、この工事を施工業者さんの指導を受けながら実際に工事を行って下さい。



標準断面面 S=1:30



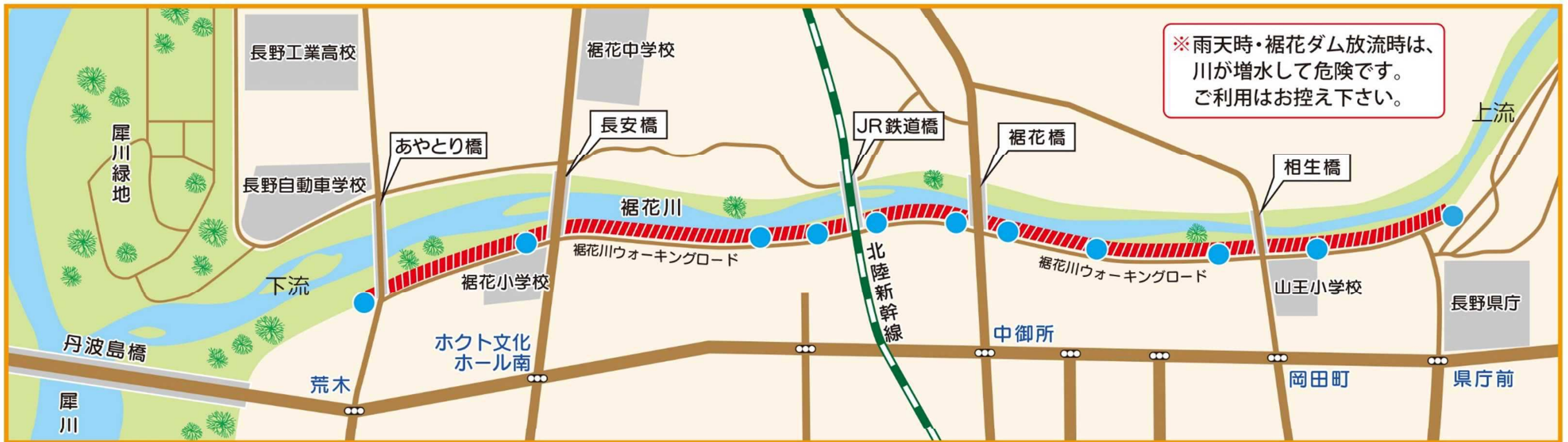
《Key Word》

- ①自分たちで工事を行う
- ②今後の維持管理を考える
- ③工事の順序、工程、仮設を考える



《実施フロー》

- ①現地調査 (現地を確認し補修が必要な範囲を確認)
- ②起工測量 (測量により・平面図・横断図を作成)
- ③設計 (測量図をもとに補修計画を考え設計図・数量計算書を作成)
- ④施工計画 (資材搬入、生コン打設等の仮設計画、品質管理を考える)
- ⑤施工 (設計図・施工計画をもとに実際の施工を行う)
- ⑥成果作成 (撮影した写真、出来形測量図、使用材料や品質管理記録をまとめる)

裾花川ウォーキングロードマップ



Let's walking!
豊かな自然がたくさん!

凡例
 裾花川ウォーキングロード(全長:2.3km) 歩行者専用の道路として利用できます。
 階段の位置



『信州ACEプロジェクト』とは?

長野県が新たに展開する健康づくり県民運動の名称です。
ACEは脳卒中等の生活習慣病予防に効果のある Action(体を動かす)、Check(健診を受ける)、Eat(健康に食べる)を表し、世界で一番(ACE)の健康長寿を目指す想いを込めたものです。

『建設技術実践プロジェクト』とは?

地域に根ざし暮らしを守る建設業の技術を将来にわたり確保し、地域で活躍する技術者を育成するものです。県が提供する建設現場において地元高校、地元建設企業の『産・学・官』が連携し、測量・設計、工事のプロセスを高校生が自ら実践し、建設産業の魅力を感じてもらい、一人でも多く建設業、測量設計業など地域を支える企業への就職につなげる取り組みです。

◆建設技術実践プロジェクト 支援・協力◆

長野県建設業協会長野支部
三共建設株式会社

(一社)長野県測量設計業協会北信支部
株式会社ダイエー測量設計

(一社)建設コンサルタンツ協会長野地域委員会
株式会社フジテック